

高商連ニュース

新年 あけましておめでとうございます

「2024年は甲辰(きのえたつ)です。陰陽五行説によると「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があります。そのため2024年辰年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就(じょうじゅ)する年になるでしょう」。

左の文章は、インターネットで見えて借用したものです。今年を「成就する年」=「飛躍の年」にしたいものです。東谷会長の「新年のあいさつ」は次号に掲載します。昨年・2023年をふりかえってみました。

全国業者婦人決起集会に12人参加



6月5日(月)に東京で開かれた決起集会・国会行動には全国から800人、高知県婦協からは12人が参加しました。うち、4人は初参加でした。

初参加4人の感想、「とても楽しく、大変優しい方ばかりで、すごく良い体験ができました」(近藤さん・安芸)。「皆さん優しく楽しくたくさん笑わせてもらいました。決起集会の盛り上がりも肌で感じる事ができよかったです」(宮田さん・須崎)。「いろいろと経験ができて良かったです」(和田さん・須崎)。「(歩きすぎて)体中痛いのですが、心は元気になりました。楽しい時間をいただきありがとうございました」(森さん・高知)。



パー券疑獄「カネまみれ」の自民党

安倍派 松野博一官房長官、高木毅・同党国会対策委員長、世耕弘成・同党参院幹事長は5年間で1千万円超の裏金を受領した疑い。西村康稔経済産業相、萩生田光一・自民党政調会長、塩谷立(りゅう)・元文部科学相(安倍派の座長)などは100万円から数百万円の裏金を受領した疑いが出ています。松野氏、西村氏は安倍派の事務総長を務め、現在は高木氏が事務総長です。

他にも 大野泰正参院議員は5千万円超、池田佳隆、谷川弥一の両衆院議員は各4千万円超、橋本聖子・元五輪相も約2千万円を受領した疑いが出ています。1千万円以上の裏金を受領した議員は10人以上いるとみられます。

岸田派も 岸田首相が会長を務めてきた「宏池政策研究会」(岸田派)にも直近5年間で数千万円のパーティー収入を収支報告書に記載していなかった疑いが浮上しています。

業者には、インボイス、電子帳簿保存法など増税と苛酷な制度を押し付けながら、**怒怒怒**です。

今回のパー券疑獄の端緒を開いたのは、「赤旗日曜版」(2022.11.6)のスクープでした。

10月 インボイス制度実施

最大の出来事は、10月1日からインボイス制度が実施されたことです。

中小事業者が消費税納税か取引からの排除を迫られる制度。1兆円ともいわれる新たな消費税負担。国からすれば増税・増収の制度。民商はじめ多くの業者団体、事業者、フリーランスの方が反対の声を上げました。

県下の民商では、旺盛な学習運動と署名活動に取り組みました。実施直前まで、実施後も登録申請や制度への対応の相談に奔走しました。

STOPインボイス(フリーランスの会)の署名は、ネット署名では過去最高の署名数になりました。



実施中止・延期を求める意見書採択も取り组まれました。高知県内では20の市町村で意見書が採択されました。採択率では全国トップです。

【採択した市町村】

- ◆安芸民商：安芸市・東洋町・田野町・芸西村
- ◆香美郡民商：香南市
- ◆南国民商：南国市・大豊町・土佐町・本山町
- ◆仁淀川民商：土佐市・仁淀川町・日高村・いの町
*担当エリア全ての市町村で採択
- ◆須崎民商：須崎市・佐川町・越知町・四万十町
中土佐町
- ◆中村民商：土佐清水市・大月町

選挙の年でした

4月 統一市長選挙 **10月** 参院補欠選挙

11月 県知事選挙、高知市長選挙

4月の県議選挙では、1人区の南国市選挙区で岡田芳秀さん(共産)と土佐清水選挙区で橋本敏男さん(県民の会)が市民と野党の共同の力で自民候補を破り当選しました。

10月には、高野前議員への秘書暴行事件に端を発し、急遽、徳島・高知参院補欠選挙が行われ、広田一さんが自民候補に9万票の大差で勝利しました。「市民と野党の共同」の再構築へと、全国を励ましました。

11月の県知事選挙(米田みのる候補)、高知市長選挙(岡崎誠也市長)の当選を勝ち取ることができませんでした。

